

冬の博物館 1月13日(土)・14日(日)

1月7日から受け付けスタート!

寒い冬も 博物館で 化石を楽しもう

- ★雪中化石探検
- ★ミニ発掘ペンダントづくり
- ★足寄の春の鳥 (室内で短いおはなし)



雪中化石探検

雪の中から化石やクリスタルがはいったカプセルを発掘

日時：1月13日(土)、14日(日)

時間：午前の部 10:00~11:30
 午後の部 13:30~15:00
 (全部で4回おこないます)

費用：500円

申込：博物館まで電話で申し込み(1月7日~)

人数：各回先着10名
 【小学3年生以下は保護者が同伴してください】

※ 参加者と保護者の入館は無料です。



ペンダントづくり

雪中化石探検でみつけた化石をつかったペンダントづくり：年ごとにレベルアップ

あしバスにのろう

停留所「動物化石博物館前」は博物館駐車場のすぐ前にあります。発着時刻は

9:02
 10:57
 13:22
 15:17
 17:12 です。

平日・土曜日に運行します。

※13日に限り、あしバス利用者は開館時間外も入館・在館できます。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ
 指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

No. 144
 2017年12月 8日発行

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101
 staff@museum.ashoro.hokkaido.jp http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

アショロア 続々登場・・・今年のできごと

活発な執筆をつづけているサイエンスライター土屋健さん、土屋香さんが図鑑風の本3冊にアショロアやベヘモトプスを紹介しました。

「しんかのお話365日、技術評論社」は、1月1日から1ページづつ割り当ててひとつの話題を提供するというおもしろい構成で、11月12日にアショロアが登場します（右写真）。動物はイラスト、館は写真で紹介されました。

「生命史図譜、技術評論社」は、時代ごとに刊行された大作「古生物ミステリーシリーズ全10巻、技術評論社」の総集編として追加されたものです。1ページの中に、アショロア・ベヘモトプス・パレオパラドキシア・デスモスチルスが並ぶという贅沢な場所を与えられています。

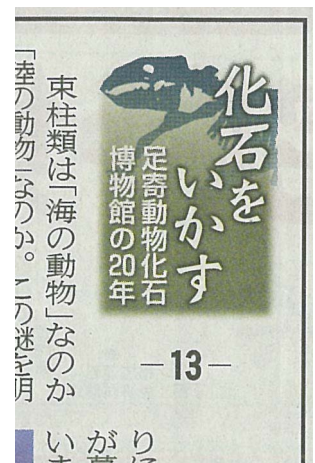
学研プラスからは「図鑑ライブ 古生物」ができました。古第三紀の化石としてアショロアがとりあげられています。



化石をいかす 足寄動物化石博物館の20年 連載中です

足寄動物化石博物館が来年開館20周年を迎えるにあたり、いくつかの企画が進行中です。その第一弾として、十勝毎日新聞に「化石をいかす 足寄動物化石博物館の20年」と題しての連載コラムを寄稿しています。澤村、安藤、新村の三人の学芸員が交代で執筆しており、隔週で金曜日の地域面に掲載されています。

化石研究の最前線から化石体験やイベントの紹介まで、20年間に渡って「足寄の化石」から広がってきた世界を紹介しています。現在は連載の半分ほど、今後はクジラの進化の謎や、20周年の企画についても掲載していく予定です。お楽しみに！



櫻子さんが来館・・・今年のできごと

「櫻子さんの足元には死体が埋まっている」の九条櫻子さんが来館されました。

骨格標本をつくる“標本土”の資格を持つ櫻子さんが、法医学の知識を駆使して事件を解決する、というストーリーで、北海道放送（HBC）のドラマでは、観月ありささんが演じていました。

太田紫織さんの同名のシリーズが原作で、小説・マンガ・アニメ・テレビドラマと展開したものです。第12作で北海道を訪れ、足寄に立ち寄られたようです。

足寄動物化石博物館に滞在中の言動は、角川書店刊「櫻子さんの足元には死体が埋まっている—ジュリエットの告白」にくわしく紹介されています。

原作（右）は博物館でも販売しています。560円。



いぬ 成年のミニ発掘

来年は成年（いぬどし）にちなんでミニ発掘に、ミニミニ「ラブラドライト」を加えます。なぜって？ ラブラドライト・レトリーバというイヌがいるからです。鉱物が見つかった場所と品種が生まれた場所であるカナダのラブラドル地方にちなんで名づけられました。

期間：2017年1月7日から

（1月は通常よりも高い確率でラブラドライトが出ます。）



実物大

ラブラドライト

1月は、
高確率でゲット
のチャンス!

千支動物展 2018

1月7日（日）～30日（月）
博物館ロビー



オオカミの頭骨

皆さんは
知っていますか？

ブルドッグの頭骨。
イヌとネコの違い。
オオカミとイヌの違い。

6種のイヌ、オオカミなどの頭骨をズラッと並べて、違いや特徴を紹介します。

（レプリカもあります。）

行事報告



バロックコンサート

今年で9回目となるバロックコンサート（9月9日）。初回以来名演が続いてきました。今年は演奏者の高橋友子さんが新調されたチェンバロのお披露目となりました。

参加：92名



ナイトミュージアム

10月28日に、暗い館内を探検して回るナイトミュージアムを行いました。ドクロ型のデカミニ発掘が好評でした。

参加：104名

化石工房 パート職員 募集

足寄動物化石博物館では、スタッフが古生物骨格をつくっています

足寄動物化石博物館には、16体の古生物復元骨格が展示されています。このうち3体のぞく13体の骨格に組み込まれている一つひとつの骨のプラスチック製の複製は、館のスタッフ（前身の化石作業所を含む）が制作したものです。

人気の化石体験（ミニ発掘など）の準備も

足寄動物化石博物館の入館者は、休日と夏休みなど学校が休みの日に増加します。多くの方がミニ発掘や古生物模型づくりなど化石体験を楽しめます。その準備や接遇をスタッフがおこなっています。

人手が足りなくなりました

入館者の増加や複製づくりを他の博物館から依頼されることが増え、仕事量が増えてきました。工房スタッフを募集します。

化石工房スタッフ募集

仕事内容：上記のように、◇化石複製づくり
◇化石体験の準備
◇化石体験の説明 など

勤務時間：1日5時間・月15日程度（社会保険なし）

給与形態：時給（支給額は足寄町役場規定に準じる）

勤務曜日：月毎に指定（土日祝日勤務あり）

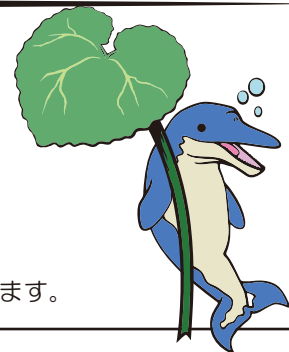
応募・問い合わせ：足寄動物化石博物館内

NPOあしよろの化石と自然 事務局

電話：0156-25-9100（博物館）

足寄動物化石博物館の利用について

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）
- 休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）
※「海の日」から8月末までは、全日開館します。
- 料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



指定管理による運営は8年となりました。入館者も仕事量も増えてきました。「想定外」の事態です。そのうちに悲鳴をあげることになる・・・？